

本気の教材研究 ⑤

「問い」から「発問」へ

学力研常任委員 深沢 英雄

一、この教材で何を教えるか

素材研究の後には「狭義の教材研究」を行います。教科書はここで何を教えようとしているのか、見て見ましよう。

日本文教出版

本時のねらい：元との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べ、この戦いが鎌倉幕府の力を弱める要因になったことをとらえることができる。

評価規準

：(知識・理解)教科書の絵図や写真から戦いの様子を把握し、外国との戦いで幕府と武士の結びつきがくずれたことを理解している。(子どもの発言・ノートの記述)

学習問題：幕府は、元とどのように戦い、結果はどうなったのだろうか

この内容を捉えると次の3つにまとめられる。

一、元との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べる。

戦いの結果で、

二、元との戦いが鎌倉幕府の力を弱める要因になった。

三、外国との戦いで幕府と武士の結びつきがくずれた。

この三つが理解できればいいとされています。しかし、具体的にどう理解すればいいのかは、この言葉を見てもわかりません。この言葉の奥にあるものを見つめないといけません。

二、教科書の文は説明文

素材研究で教科書の文を「問いを持って」読みました。次は、文に書かれている「奥」を読んでいかなないと授業は表面的になりません。

元との戦い

一三世紀にモンゴルが中国にせめこんで、元という国をつくりました。さらに朝鮮半島の高麗を支配すると、日本も従うように何度も使者を送ってきました。しかし、幕府の政治を進めていた**北条時宗**は、要求をはねつけました。幕府と強く結びついていた御家人たちは、時宗の命令を受けて、続々と九州北部の守りにつきました。

元軍は、2度にわたって九州北部におしよせてきました。御家人たちは、元軍の集団戦法や火薬兵器に苦しみながらも、激しく戦いました。元軍は、あらしにおそわれたりするなど、2度とも大損害を受けて大陸に引きあげました。

御家人たちは、命がけで元軍と戦いましたが、幕府から御恩として領地をもらえた者はわずかでした。そのため、幕府に不満をもつ御家人が出てきました。

2度目の元との戦いから50年ほどのちに、北条氏は足利氏らによってたおされました。

竹崎季長はほうびをもらえたのか

「弓矢で戦う武士は、とにかく先がけするところがいちばんだ。あれこれ考えず、ただ敵陣に突入せよ。」

これは、元軍と戦った肥後(熊本県)の御家人、**竹崎季長の**言葉です。当時、自分の領地を失っていた季長は元軍がせめてきたとき、元軍の毒矢や火薬兵器で負傷してもひるまずに戦い続けました。

しかし、幕府がほうびをくれなかったので、季長は鎌倉まで出かけ必死に自分の手をうったえました。幕府も、季長の手がらを認め、領地をあたえました。

教科書の文は説明文と言われます。「元との戦い」の文は、**段落**ことに、**起・承・転・結**となっています。次の「竹崎季長はほうびをもらえたのか」は、**序論・本論・結論**となっています。神戸おもちやばこ例会で西宮の桔梗さんから、子ども達の「学び合い」指導として、文を読ませ、見出しをつけさせていると教えてもらいました。社会の教科書文を説明文として捉え、それを教材化するということです。

教科書の文は、「濃縮ジュース」みたいなものです。検定教科書の限られたスペースの中に抽象度が高く、なおかつ子ども達も理解できるようにしないとダメですね。奥にすごい情報があります。分かりやすくし

ていますが、そのまま食べさせると消化できない子もいます。教科書の文を「おもち」だとすると、柔らかくしたり、焼いたり、むしたり、たいたり、それに「きなこ」「醤油」「汁」を入れて美味しくして食べやすくします。教師が「読み解いて」料理しないといけません。

三、関連本を読む

教師が文を読み説くためには、教師の知識の深さが求められます。元との戦いの文の一文目

一三世紀にモンゴルが中国にせめこんで、元という国をつくりました。

分からないことがたくさんできます。

「一三世紀のいつごろ?」「モンゴルという国はどういう国?」「モンゴルがなぜ中国にせめこんだの?」「だれが率いてせめこんだの?」「その時、中国と呼ばれていたの?」「いつからモンゴルが元になったの?」「だれが元にしたの?」などこの一文からもたくさんのが出てきます。

① 児童図書を読む

そのためには、基礎的な知識を積んでいきます。私はその時にまず読むのは、その

時代全体を掴むことです。全体を掴み、子どもに分かりやすく伝えるのに、ぴったりな本は、子ども用の本です。

(一) マンガから

子ども用「歴史漫画」から読み始めます。まんが学習シリーズ。小学館、集英社、角川など複数の出版社から発売されています。大人用の歴史漫画も読みます。「アングロモア 元寇合戦記」「北条時宗 さいとうたかを」「石ノ森章太郎 日本の歴史」などです。

(二) 子ども用の本

「日本の歴史3 武士政権の誕生 鎌倉時代」など図書室にハードなカバーの本がならんでいます。歴史本としてセット購入されているものです。鎌倉時代を選んで読んでいきます。

次は歴史人物の本です。元との戦いの人物では「北条時宗」「フビライハン」などを読みます。

本気の教材研究をお読みいただきありがとうございます。先生のための学校で、

「元との戦い」の模擬授業をします。興味のある方は是非、「先生のための学校」を受講してください。よろしくお願い致します。